



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 三井住建道路株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1776 URL https://www.smrc.co.jp  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）蓮井 肇  
 問合せ先責任者（役職名）経理部長（氏名）今野茂幸（TEL）03-6258-1523  
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,584	7.8	△90	—	△74	—	△87	—
2025年3月期中間期	12,601	△10.7	△266	—	△229	—	△188	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △85百万円（—%） 2025年3月期中間期 △180百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△9.50	—
2025年3月期中間期	△20.51	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	22,696	13,112	57.8	1,424.53
2025年3月期	24,555	13,560	55.2	1,475.51

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 13,112百万円 2025年3月期 13,560百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,450	1.0	710	216.5	710	162.0	420	150.1	45.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	9,277,500株	2025年3月期	9,277,500株
2026年3月期中間期	72,653株	2025年3月期	86,853株
2026年3月期中間期	9,201,672株	2025年3月期中間期	9,186,456株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(中間期)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(第2四半期(中間期)決算補足説明資料について)

第2四半期(中間期)決算短信に加えて、中間期決算補足説明資料を当第2四半期(中間期)決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(中間連結損益計算書) .....	5
(中間連結包括利益計算書) .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
受注高・売上高・次期繰越高(個別) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかに回復基調にあります。一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっていることに加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっていることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

道路建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、建設資材価格が依然として高値圏で推移していることや労務需給の逼迫などにより、厳しい経営環境となりました。

このような状況にありますが、当社グループ(当社及び連結子会社をいう。以下同じ。)は、2025年5月14日付で公表した新中期経営計画(2025~2027)において、「経営改革を通じた収益力・企業価値の向上」を基本方針として、次世代の成長への土台を整備する期間と位置付け、安全とコンプライアンスを最優先に、更なる企業価値向上に向けた取り組みを実行し、収益力と効率性の向上にこだわり、利益の創出を図ってまいります。また、すべてのステークホルダーの期待に応えるべく、品質管理強化による顧客満足度の向上、社員の処遇改善、株主還元強化などに積極的に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の当社グループの業績は、受注高は17,358百万円(前年同期比11.9%増加)、売上高は13,584百万円(前年同期比7.8%増加)、経常損失は74百万円(前年同期は経常損失229百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は87百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失188百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は売上総利益の数値であります。

#### 【建設事業】

建設事業におきましては、受注高は14,858百万円(前年同期比12.8%増加)となりました。完成工事高は11,054百万円(前年同期比8.0%増加)、採算性を意識した工事管理の強化により収益性が改善し、セグメント利益は1,129百万円(前年同期比27.2%増加)となりました。

#### 【製造・販売事業】

製造・販売事業におきましては、売上高は2,500百万円(前年同期比6.9%増加)、製造コスト上昇分の販売価格への転嫁が前年同期と比較して改善し、セグメント損失は29百万円(前年同期はセグメント損失61百万円)となりました。

#### 【その他】

その他におきましては、太陽光発電による売電事業の売上高は28百万円(前年同期比3.9%増加)、セグメント利益は15百万円(前年同期比7.2%減少)となりました。

なお、「中期経営計画2025-2027」の詳細につきましては、2025年5月公表の『「中期経営計画2025-2027」策定のお知らせ』をご参照ください。

(当社ホームページ) <https://www.smrc.co.jp>

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,858百万円減少して22,696百万円となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等によりです。

負債合計は、同1,410百万円減少して9,584百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が減少したこと等によりです。

純資産合計は、同448百万円減少して13,112百万円となりました。これは、剰余金の配当371百万円により利益剰余金が減少したこと等によりです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローにつきましては、売上債権及び仕入債務の減少により営業活動によるキャッシュ・フローは1,000百万円の資金の増加(前年同期は3,358百万円の資金の減少)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、ソフトウェアの初期設定費用等の計上による長期前払費用の増加により177百万円の資金の減少(前年同期は343百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により385百万円の資金の減少(前年同期は386百万円の資金の減少)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、437百万円増加し、7,465百万円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高30,450百万円、営業利益710百万円、経常利益710百万円、親会社株主に帰属する当期純利益420百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、製造・販売事業において原材料仕入価格が一定の水準であることを前提に算定しておりますが、仕入価格が著しく変動した場合は事業への影響を慎重に見極め、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	7,027	7,465
受取手形・完成工事未収入金等	9,430	7,602
製品	0	0
未成工事支出金	151	308
材料貯蔵品	168	183
その他	635	124
流動資産合計	17,414	15,684
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,700	1,630
機械及び装置(純額)	1,405	1,263
土地	2,752	2,752
その他(純額)	55	44
有形固定資産合計	5,914	5,690
無形固定資産	94	112
投資その他の資産		
その他	1,154	1,231
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	1,131	1,209
固定資産合計	7,140	7,012
資産合計	24,555	22,696
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,486	4,399
電子記録債務	1,931	1,964
未払法人税等	214	48
未成工事受入金	448	288
完成工事補償引当金	4	4
賞与引当金	5	3
工事損失引当金	1	4
その他	1,024	1,000
流動負債合計	9,117	7,713
固定負債		
株式報酬引当金	67	56
退職給付に係る負債	1,301	1,324
資産除去債務	151	149
その他	356	339
固定負債合計	1,877	1,870
負債合計	10,994	9,584

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,329	1,329
資本剰余金	1,597	1,597
利益剰余金	10,428	9,969
自己株式	△80	△72
株主資本合計	13,274	12,823
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	170	170
退職給付に係る調整累計額	115	118
その他の包括利益累計額合計	286	288
純資産合計	13,560	13,112
負債純資産合計	24,555	22,696

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,601	13,584
売上原価	11,758	12,468
売上総利益	843	1,115
販売費及び一般管理費	1,109	1,206
営業損失(△)	△266	△90
営業外収益		
受取利息	0	5
受取地代家賃	3	2
その他	35	8
営業外収益合計	39	16
営業外費用		
支払保証料	1	0
賃貸収入原価	1	0
営業外費用合計	3	0
経常損失(△)	△229	△74
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	13	14
工場再編費用	8	—
特別損失合計	21	14
税金等調整前中間純損失(△)	△248	△88
法人税等	△60	△1
中間純損失(△)	△188	△87
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△188	△87

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△188	△87
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	7	2
その他の包括利益合計	7	2
中間包括利益	△180	△85
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△180	△85
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△248	△88
減価償却費	286	301
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△1
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	3
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	9	△3
受取利息及び受取配当金	△2	△7
受取立退料	△25	—
固定資産売却損益(△は益)	△2	—
固定資産除却損	13	14
工場再編費用	8	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,662	1,828
棚卸資産の増減額(△は増加)	△172	△172
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△236	511
その他の固定資産の増減額(△は増加)	20	△4
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,151	△1,054
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△34	△160
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,244	△25
その他	2	6
小計	△3,083	1,172
利息及び配当金の受取額	2	7
法人税等の支払額	△286	△178
立退料の受取額	25	—
工場再編による支出	△16	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,358</b>	<b>1,000</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△260	△11
有形固定資産の売却による収入	4	—
有形固定資産の除却による支出	△12	△0
無形固定資産の取得による支出	△74	△24
資産除去債務の履行による支出	△0	△7
その他	0	△133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△343</b>	<b>△177</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△15
配当金の支払額	△368	△369
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△386</b>	<b>△385</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,089	437
現金及び現金同等物の期首残高	11,178	7,027
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,088	7,465

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
舗装工事	7,538	—	7,538	—	7,538	—	7,538
土木工事	2,697	—	2,697	—	2,697	—	2,697
その他	—	2,338	2,338	27	2,365	—	2,365
顧客との契約から生じる 収益	10,235	2,338	12,573	27	12,601	—	12,601
外部顧客への売上高	10,235	2,338	12,573	27	12,601	—	12,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	546	546	—	546	△546	—
計	10,235	2,884	13,119	27	13,147	△546	12,601
セグメント利益又は セグメント損失(△)	887	△61	826	16	843	—	843

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業に関する事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
舗装工事	6,891	—	6,891	—	6,891	—	6,891
土木工事	4,162	—	4,162	—	4,162	—	4,162
その他	—	2,500	2,500	28	2,529	—	2,529
顧客との契約から生じる 収益	11,054	2,500	13,555	28	13,584	—	13,584
外部顧客への売上高	11,054	2,500	13,555	28	13,584	—	13,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	509	509	—	509	△509	—
計	11,054	3,010	14,064	28	14,093	△509	13,584
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,129	△29	1,100	15	1,115	—	1,115

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業に関する事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

受注高・売上高・次期繰越高(個別)

区 分			前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		比較増減	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	前期比 (%)
前期繰越高	工事部門	舗装工事	7,426	68.3	5,273	56.7	△2,152	△29.0
		土木工事	3,445	31.7	4,027	43.3	581	16.9
	合 計		10,871	100.0	9,300	100.0	△1,570	△14.4
受注高	工事部門	舗装工事	8,738	58.1	9,824	57.9	1,085	12.4
		土木工事	3,965	26.4	4,622	27.3	657	16.6
		計	12,703	84.5	14,446	85.2	1,743	13.7
	製品部門		2,338	15.5	2,500	14.8	162	6.9
	合 計		15,041	100.0	16,947	100.0	1,905	12.7
売上高	工事部門	舗装工事	7,302	59.1	6,705	50.1	△596	△8.2
		土木工事	2,694	21.8	4,158	31.0	1,463	54.3
		計	9,996	80.9	10,863	81.1	866	8.7
	製品部門		2,338	18.9	2,500	18.7	162	6.9
	その他部門		27	0.2	28	0.2	1	3.9
	合 計		12,362	100.0	13,393	100.0	1,030	8.3
次期繰越高	工事部門	舗装工事	8,862	65.3	8,392	65.1	△469	△5.3
		土木工事	4,715	34.7	4,491	34.9	△224	△4.8
	合 計		13,578	100.0	12,883	100.0	△694	△5.1